

## 主催:浜中町教育委員会様

# 小中高のつながりを見据えたプログラミング研修会の開催

浜中町教育委員会主催で13名の方々に参加していただき開催！



◆8月30日、浜中町教育委員会様の主催で、まずはご参加の皆様方にプログラミングを体験していただくことをメインに、体験重視のプログラミング研修会を開催いたしました。夏休みが終了し、2学期始まってすぐの、何かとお忙しい時期に13名の方々にお集まりいただき、熱心に研修に励んでいただきました。

◆ご参加の皆さん、お疲れさまでした。また、主催いただいた浜中町教育委員会様、大変ありがとうございました。研修会の概要は以下の通りとなっています。

### 浜中町プログラミング研修会の概要

【場 所】 浜中町立霧多布中学校 パソコン教室

【日 時】 2019年8月30日(金)午後2時30分～4時30分

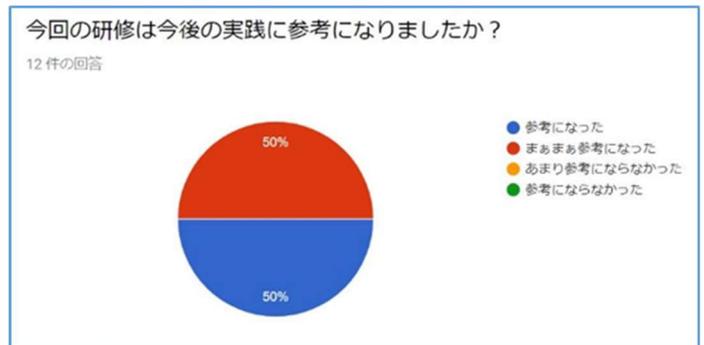
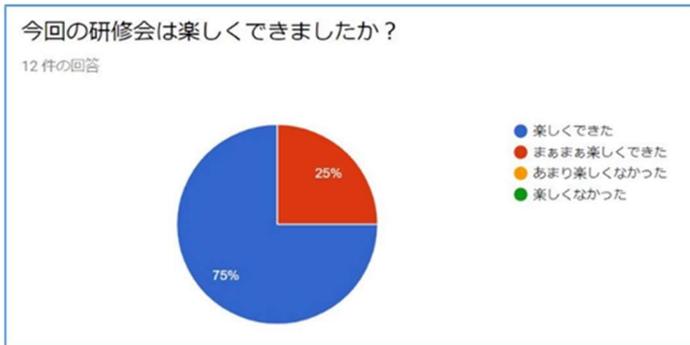
【参加者】	浜中町立霧多布小学校	1名	浜中町立散布小学校	1名	浜中町立浜中小学校	1名
	浜中町立茶内小学校	2名	浜中町立浜中中学校	1名	浜中町立茶内中学校	1名
	浜中町立散布中学校	1名	浜中町立霧多布中学校	2名	霧多布高等学校	1名
	浜中町教育委員会	2名	合計13名(小5名 中5名 高1名 教育委員会2名)			

### 【内 容】

- ・情報活用能力について
- ・プログラミング教育の概要
- ・プログラミング教育の授業づくり
- ・プログラミング教育の教材について



◆今回の研修会、参加者お一人お一人にタブレット1台を持っていただきました。第一講座では、渥美清孝(浜中町教育委員会指導室長)様が情報活用能力について、新学習指導要領に基づいた説明がありました。第二講座では、まずプログラミング教育の概要について話をさせていただきました。これからの時代が向かえる Society5.0 の時代について動画を視聴し、様々な職業を提示し「生き残る職業」「消える職業」に分類する作業を通して、今後必要となる能力や資質を考えていただきました。盛り上がったのが「教師」という職業は生き残るのか、消えるのかというものでした。次に、プログラミング教育のねらいやプログラミングの基本的なことについて話をさせていただきました。第三講座では、ゲーム感覚でできるライトボットを体験していただき、授業づくりのポイントについて「試行錯誤」という観点から説明

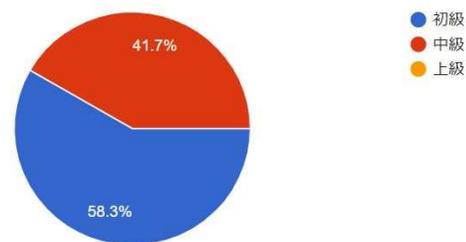


させていただきました。そして、実際にプログルというサイトを使って正多角形の作図に挑戦していただきました。最初は作図に手間取るところもありましたが、プログル操作に慣れると次々と課題をクリアしていきました。最後は、プログラミング教育の教材の一つである micro:bit (マイクロビット) を、お一人お一人に使っていただきながら、実際の制作体験を通してプログラミングを学んでいただきました。参加者の皆様方も興味を持って体験していただけたのではないのでしょうか。

◆研修会終了後、ご参加の皆様方に今回の研修会について簡単なアンケートに答えていただきました。「今回の研修会は楽しくできましたか」と「今回の研修は今後の実践に参考になりましたか」の結果は、前のグラフのようになりました。参加者12名中9名の方が「楽しくできた」、半数の方が「参考になった」と答えてくださいました。「参考になった」と答えてくださった方が少ない印象ですが、さまざまな校種の先生方が参加されていたので、それぞれの校種に見合った内容が若干不足していたのかもしれません。そして、5名の方はITに関する技能が中級程度の方でしたので、講座内容が易しく感じられたのかもしれません。

あなたのICTスキルは、大体どの程度ですか？

12件の回答



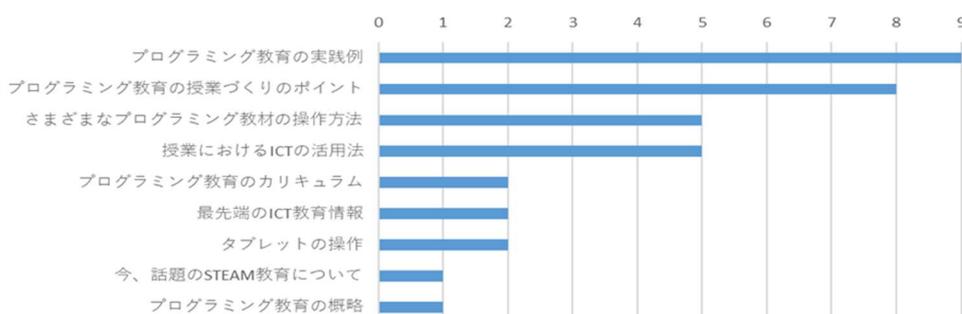
## 「プログラミング授業づくりのポイントが大事だと思いました」

◆アンケートには、自由記述の欄も設け、様々なご意見等をいただきました。その全ての回答が下の通りとなっています。ご覧いただければお分かりのように、こちらの方は「新鮮に楽しく参加できました」「勉強になりました」「子どもたちにもやらせてみたいとおもいました」「授業でも実践して行きたいと思った」など好意的な記述が並びました。その反面、「授業での活用方法についてもう少し知りたかったです」という方もいらっしゃいましたので、できるだけ具体例・実践例を入れることの必要性も感じ、今後の改善点とさせていただきます。

### 【参加者のご意見・ご感想】

- 1 小学校中学校などでどのような学習を行なっているか交流が必要だと感じました。
- 2 初めて使う機器の操作や体験もあり、新鮮に楽しく参加できました。
- 3 マイクロビットは初めて使ったので、勉強になりました。
- 4 タブレットが生徒に貸せるだけあれば、というわがまを言いたくなりました。子どもたちにもやらせてみたいとおもいました。
- 5 マイクロビットの導入を検討中なので実機に触ることができてよかったです。授業での活用方法についてもう少し知りたかったです。
- 6 物を利用するのめたのしかったです。
- 7 触っていくうちに出来るようになっていく楽しさは、好奇心旺盛な子どもたちに持ってこいであると思います。普及していけばと思います。
- 8 実習だけでなく概念も学ぶことができてよかったです。
- 9 情報機器の活用をどのようにしたらよいか参考になった。授業でも実践して行きたいと思った。
- 10 プログラミング授業づくりのポイントがとても大事だと思いました。間違いを乗り越え、失敗に強くなる子供たちを育てる、全ての子供たちの居場所を作るという視点を持って取り組むことが絶対に必要です。その視点がないと、プログラミング教育はやらないほうが良いと思いました。大事な視点を教えていただきありがとうございます。
- 11 自分自身のICT活用能力がまだまだ低いと感じさせられました。子供たちに自信を持って教えられるように、これからも研修を積まなくてはいけないなあと思いました。
- 12 プログラミング教育の研修を初めて受講しました。プログラミング教育には少し難しいかもしれないという抵抗がありましたが、実際に行ってみて、このレベルの難易度であれば、小学校の中でも導入していくことが可能だと実感することができました。有難うございました。

### 今後どのような研修に参加してみたいですか？ ※複数選択可



◆「今後どのような研修に参加してみたいですか」という質問に対しては、「プログラミング教育の実践例」が一番多く9名の先生方、2番目は「プログラミング教育の授業づくりのポイント」の8名の先生方が選択しています。やはり、新学習指導要領の来春実施を控え、より実践的な研修を期待されていることが伝わってきます。今後、より充実した、

そして現場の先生方のニーズに即した研修会になるように努力させていただきます。浜中町教育委員会並びにご参加の皆様方ありがとうございました。